



水産情報速報版

H19. 10. 1 No1241
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行=指導部漁政課
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. サクラエビ秋漁の操業日程決定

- 県桜えび漁業組合 -

県桜えび漁業組合(望月 武組合長)では、9月1日役員会を開催し、本年のサクラエビ秋漁の操業期間と休漁日を次のとおり決定しました。

操業期間: 10月31日(水)晩~12月26日(水)朝 休漁日: 11月2日(金)、3日(土)、10日(土)、17日(土)、22日(木)、24日(土)、12月1日(土)、8日(土)、15日(土)、22日(土)

また、秋漁を前に開催している「生産技術研修会」を、10月22日(月)由比港漁協、10月23日(火)に、大井川漁協において夫々開催します。

2. 平成19年度天草共販第6回入札会開催される

本会では、9月12日賀茂出張所において、天草共販の第6回入札会を開催しました。6回までの取扱累計は数量129,197kg、本数5,183本(前年比37,947kg、1,525本増)、取扱金額126,552千円(同3,573千円減)、平均単価9,795円(同4,465円減)となりました。

なお、今回の入札結果は次のとおりです。

入札数量: 3,833kg(155本) 取扱金額: 4,069千円 平均単価: 10,616千円(10kg当たり) 最高入札額: 14,690円(10kg当たり) 生産地=見高、銘柄=まくさ(粗)

3. 組合員会議開催 県内のトラフグ漁獲量は55~60トンと予測 - 県ふぐ連 -

県ふぐ漁組合連合会(会長: 星川壽美雄浜名漁協組合長)では、9月14日、伊豆の国市長岡において、組合員等35名の参加のもと、組合員会議を開催しました。

会議では、8月の調整会議で取り決めた「平成19年度操業申し合わせ」について確認するとともに、水総研南伊豆栽培漁業センター鈴木重則技術研究員及び県水研浜名湖分場小泉康二主任研究員等から本年度のふぐ放流事業実施状況及び効果、資源状況、漁海況予測などの説明を受け研鑽しました。

それによると、本県の今期トラフグ漁の漁況予測は、前年の年齢別漁獲量(尾数)及び本年8月~9月における駿河丸による試験操業結果から、漁獲物は1歳魚主体(全長40cm、体重1kg前後)で、その割合は平年並みの8割程度。3歳魚(約2.5kg)以上の大型は少ない。漁獲量は55~60トン程度で、前年の約1.5倍、平年(過去10年平均)の約1.2倍になると予測しています。

4. 共同で海岸清掃を実施

- 県漁協青壮年部連合会 -

県漁協青壮年部連合会(会長: 杉本照幸大井川町漁協青壮年部長)では、FAF(農林水産業担い手倶楽部)の共同事業として、9月15日、沼津市獅子浜の静浦漁港周辺で、県農協青壮年連盟、県林業研究グループ連絡協議会と合同で海岸清掃を行いました。

これは、第一次産業を営む林業、農業、漁業に携わる生産者が協力して環境保全に取り組むとともに、共同事業を通し親睦を深め、相互の理解促進を図るために実施されたものです。

当日、海岸清掃に各団体の役員等約30名が参加し、空き缶やペットボトル、弁当の空

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

き箱などを拾い集めました。また、釣り人が捨てたと思われるゴミも多く散乱していたため、釣り人にゴミの持ち帰りを呼び掛けました。清掃後、参加者は、持ち寄った海の幸、山の幸等を囲み親睦を深めました。

5. 2007年度漁協運動功労者35人決まる

- JF全漁連 -

JF全漁連(服部郁弘会長)では、9月19日漁協運動功労者表彰審査委員会を開催し、2007年度(第22回)の漁協運動功労者35人を決定しました。今年度の受賞者は、JF漁連・JF信漁連会長等が推薦した34人とJF全漁連会長推薦の1人で計35人です。

本県関係では、根崎 梓氏(JF伊東市前組合長、JF静岡漁連前副会長)が受賞されました。ここに受賞を衷心よりお喜び申し上げます。

なお、表彰式、祝賀会は、11月21日(水)、東京虎ノ門パストラルで行われます。

6. 船舶職員養成講習会開催のお知らせ

- 焼津漁協 -

焼津漁協(西川徳市組合長)では、本会との共催により開催していた船舶職員養成講習会を、本年度から、単独で県の委託を受け開催することになり、受講生を募集しています。開催概要は次のとおりです。

開催期間: 3級海技士(航海・機関)平成19年11月19日(月)~平成20年3月11日(火) 4級海技士(航海・機関)平成20年1月8日(火)~平成20年3月11日(火)

講習会場: 県立漁業高等学園研修室(焼津市小川汐入) 海技士国家試験(臨時): 平成20年3月12日(水)~3月16日(日)(試験会場: 県立漁業高等学園、焼津市文化センター) 免許講習: 平成20年3月下旬(講習会場: 海技大学校) 問合せ先: 焼津漁協指導課 054-628-7115

7. 「マリン・エコラベル・ジャパン」制度年内発足 ログマークを募集中 - 大水 -

大日本水産会(中須勇雄会長)では、水産資源の持続的利用や環境保全に配慮して漁獲した水産物を認定し、消費者にこれらの取り組みを広め、消費者と共にこのような漁業を応援することを目的に、「マリン・エコラベル・ジャパン(略称MELジャパン)」制度を年内に立ち上げ、来年から認証を始めます。

同制度で認証された水産物に、「マリン・エコラベル」を貼って、消費者はそれを目印に購入することで、水産資源の保護や環境保全に貢献が出来ることとなります。

現在その「マリン・エコラベル」のログマークを次のとおり募集しています。

募集作品: ログマーク 募集要件: すでに作品として公表又は使用されていないもので、マリン・エコラベル・ジャパン事務局が独占的に使用できる作品 デザインの条件: ラベルの主旨を国の内外に分かりやすく伝えるもの。次の名前を一つの図案の一つ入れて、国内用と海外用の二種類を作成。「マリン・エコラベル・ジャパン」「Marine Eco-Label Japan」 締め切り: 平成19年10月15日(月) 応募作品数: 1人5点まで 賞品: 採用作品は、賞金20万円と美味しい日本の海の幸、2等(2名)は、賞金5万円と同海の幸、3等(5名)は、賞金1万円と同海の幸 ほか 問合せ先: マリン・エコラベル・ジャパン事務局(大日本水産会内) <http://www.suisankai.or.jp>

8. 本会人事のお知らせ

退職 9月30日付 松本有未(経理課)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう